

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

「ひき算の式を書きなさい」といわれたら、どこまで書くのですか



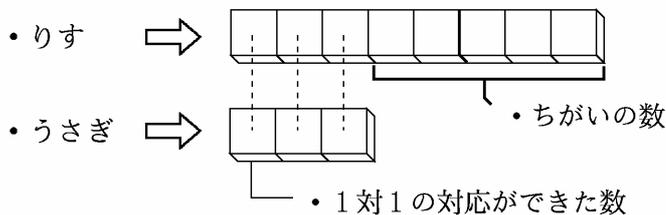
○から□をとると■の「○から□をとる」、
○-□=■の「○-□」を表す部分です。



文章の問題を式で表してみましよう。

りすが 8ひき います。うさぎが 3ひき います。
どちらが なんびき おおいでしょうか。しきと こたえを かきましよう。

・りすとうさぎの数を、比べてみましょう。



・「どちらが多いか」では、1対1の対応を考えれば、ちがいの数がわかります。

・1対1の対応ができた数

$$\boxed{8} - \boxed{3} = \boxed{5}$$

・多い方の数 ・ちがいの数

・式は、「8-3」です。

・答えまで求めるときは、「8-3=5」まで書いてもまちがいではありません。

・答えは、「りすが 5ひき おおい」です。

・ふつう、こたえ りすが 5ひき おおい のように、下に線を引いて表します。

[参考] ・一般に、式は答えを出すためのものという意識が強くあります。

・しかし、式をもとにして、問題の場面を表すことによって、式には、問題の場面を簡潔に表した
ものという役割があることを、1年生に気づかせましよう。